

令和元年度研究成果報告会開催報告

2020年3月8日、北塩原村の休暇村裏磐梯天文台ホール会議室にて、磐梯朝日自然環境保全研究所の令和元年度研究成果報告会を開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大防止から、県内でもイベントのほとんどが延期・中止となる中でしたが、感染予防対策を徹底した上で開催させて頂きました。発表は全部で6題と少なめでしたが、内容は裏磐梯地域の動物・植物、地下水流動、湖沼の水質、表磐梯地域を流れる長瀬川の底生動物、猪苗代湖の湖底堆積物の分析に基づく安達太良山や磐梯山の活動履歴に関するものと多彩でした。学生による発表が2題と少なかったのは寂しかったですが、学外からの27名を含む39名にご参加頂き、それぞれの発表に対して、鋭い質問や意見を頂くなど、活発な意見交換ができました。

参加者をお願いしたアンケートにも、たくさんのご意見、ご要望を書いて頂きました。アンケートで頂いた意見・要望は今回の報告会には不参加だったメンバーも含めて、磐梯朝日自然環境保全研究所のメンバー全員で共有させて頂きました。

磐梯朝日自然環境保全研究所も2期目の最初の年を無事に終わられそうです。来年度も磐梯地域や猪苗代地域での調査研究を進めて、再び研究成果報告会を（今度は猪苗代地域で）開催したいと考えています。



藪崎先生は京都の総合地球環境学研究所から、片岡先生は新潟大学からご参加頂き、発表もして頂きました。